



令和5年9月29日

報道関係 各位

名古屋市立大学総務部財務課  
課長 上土井 崇之 電話：853-8012

## 名古屋市立大学の研究力強化～なごや共創研究基金の創設～

名古屋市立大学は、令和6年度からの第四期中期目標期間（6年間）を含めた中長期を展望し、世界をリードする魅力ある大学をめざすため、設立団体である名古屋市との連携のもと、「なごや共創研究基金」を創設し、大学の研究力の強化に重点的に取り組むことといたしましたので、下記のとおりご報告いたします。

これにより本学は、研究大学としての飛躍はもちろんのこと、行政課題や地域課題の解決、地域の発展のために、名古屋市をはじめとする産学官での連携強化を推し進め、研究による知見を地域のまちづくりに還元し、ひいては国際社会に貢献してまいります。

### 記

#### 1 なごや共創研究基金の創設

本学の自己資金の重点的な投資と当地域の行政課題に取り組むための名古屋市からの共同研究費（寄附講座）等を主な研究資金として、国際的な研究拠点の形成、多様な臨床研究の活性化、世界レベルの研究者の育成、地域社会へのさらなる貢献をめざすとともに、その研究成果としての知的財産で得た外部資金を次の研究へと再投資するなど、持続可能な研究サイクルを確立します。

本学をご支援いただける民間企業や市民の皆さまからの寄附金なども募りながら、まずは、今後10年程度を目途に研究資金100億円をめざします。

#### 2 なごや先端研究開発センターの設立

なごや共創研究基金の資金を活用し、国際研究や臨床研究の推進、研究人材の育成や研究環境の整備、行政課題や地域課題の研究の促進を図るための研究センターを本学に設立し、「世界への発信」と「地域への貢献」に取り組めます。

当該センターにおいて、卓越した研究グループへの支援や国際共同研究の支援、臨床研究推進体制の抜本的強化等を進めるほか、大学院生やポストドクター、臨床研究医などの若手研究者への支援等の充実、さらには、人口減少、少子化・高齢化、産業の環境変化、デジタル化、脱炭素化など、名古屋市を取り巻く社会状況に潜む課題の解決に向け、産学官の連携を強化し、寄附講座をはじめとする共同研究を促進します。



# なごや共創研究基金の創設

ビジョン

世界をリードする魅力ある大学

「世界への発信」と「地域への貢献」

研究力強化

還元

## なごや先端研究開発センター

- ・国際的な研究拠点の形成
- ・多様な臨床研究の活性化
- ・世界レベルの研究者の育成
- ・行政・地域課題研究の促進

## なごや共創研究基金

10年程度で100億円をめざす

学内の多様な研究所等との連携

高度人材輩出  
先端研究の推進  
高度医療の提供  
地域課題解決  
地域活性化  
知的財産獲得  
スタートアップ

地域の成長・発展に貢献

名古屋市

市民

民間企業  
関係機関

期待・活用

投資

多様な財源確保が必要（支援・協力・連携）

自己財源  
50億円  
市立大学

寄附講座に係る  
寄附金等  
名古屋市

寄附金、受託研究、  
特許実施料等  
民間企業、市民等

都市政策  
研究センター

実験動物研究  
教育センター

市立大学

8学部

7研究科

5附属病院

34附属研究所

脳神経科学  
研究所

不育症  
研究センター

創薬基盤科学  
研究所

がん診療・包括  
ケアセンター

- ・研究への重点的な投資による、研究の活性化
- ・研究の知見を地域社会に還元し、地域の発展・成長に貢献
- ・研究への期待や知的財産の活用等による再投資の呼び込み

→持続可能な研究サイクルを確立

